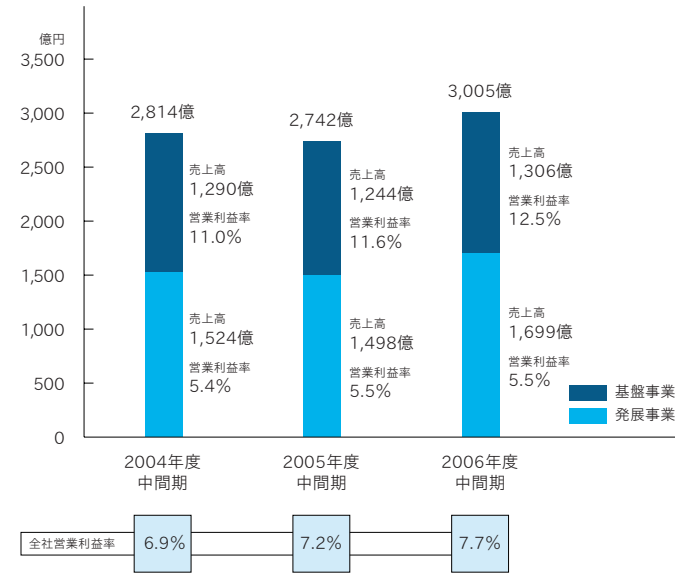


■ 経営施策紹介 成長性と収益性の確保

BUSINESS INTRODUCTION

当グループは、各事業を「基盤事業」と「発展事業」に分けて位置付けています。これら2つの事業領域を事業運営の核と考え、それぞれの事業特性に応じた事業運営により、成長性と収益性を安定的に確保できる経営を推進しています。

■ 基盤事業と発展事業の売上高・営業利益の推移



■ 基盤事業

時計事業、コンシューマ事業（デジタルカメラを除く）、情報機器事業といった、既に市場でトップクラスのシェアを確保し、今後大きな追加投資を必要とせず、安定的なキャッシュ・フローの獲得が見込まれる事業です。
【今後の展開】
引き続き市場をリードしながら、設計段階での原価率の低減などを進め、利益率の向上を目指します。

■ 発展事業

デジタルカメラ事業、通信事業（携帯電話）、デバイス事業（TFT液晶）といった、マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業です。
【今後の展開】
コア技術を活かした製品の投入により利益率を確保しながらシェア拡大に注力します。

■ 基盤事業 最近の主な動向

電子辞書



- 日本市場シェア1位 (50%以上、2005年度)*
- 日本国内のみならず、韓国・ドイツ・スペイン語圏・中国など、非英語圏への展開を積極的に推進中。売上高に占める海外販売比率は2005年度で約1割。今後も販売体制の強化を図り、海外販売比率の向上を目指す。

電波時計



- 出荷個数：全世界1位 (240万個、2005年度)
- フルメタル仕様の電波ソーラー時計「OCEANUS」が好調。日(2局)・米・独・英の5局の標準電波に対応するモデルをG-SHOCK、Baby-Gに投入。

■ 発展事業 最近の主な動向

デジタルカメラ



- スタイリッシュ・コンパクトジャンルを創造した「EXILIM®」ブランドで、高画質・高速動作・大画面液晶・長電池寿命などの性能を活かし、常に市場をリード。
- 2005年度は、全世界に460万台を出荷。2006年度は同600万台の出荷を目指す。
- 「EX-Z600」(写真)が2006年4~9月で、全メーカーを通じて機種別販売台数第1位を獲得*。

携帯電話



- 「W41CA」(写真)が全キャリアを通じて連続13週(2006/2/6~5/7)販売ランキング1位を獲得*。

TFT液晶ディスプレイ

- 中小型に限定して事業展開。主力のデジタルカメラ用液晶ディスプレイに加え、今後は携帯電話やポータブルGPSなどの新しい分野への積極的な展開も図る。



*3,000店を超える家電量販店での販売実績を集計するGfK Japan調べ